

二宮町環境審議会 会議次第

日 時 平成27年2月20日(金)

午前10時00分より

場 所 二宮町役場 第1会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

(1) 「平成25年度 第2次環境基本計画実施計画の進捗状況」について

(資料1)

(2) 「第2次環境基本計画実施計画評価シート」(案)について

(資料2)

(3) 「第2次環境基本計画実施計画【中期】」の作成方針(案)について

(資料3)

(4) その他

(資料4)

4. 閉 会

二宮町環境審議会

(敬省略)

氏名	役職等	備考	任期	部会
高瀬 元春	地区長連絡協議会 会計	1号委員	H26.8.30～ H28.8.29	循環型社会の 実現部会
亀井 常彰	公募	1号委員	H26.8.30～ H28.8.29	循環型社会の 実現部会
岡田 幸次郎	公募	1号委員	H26.8.30～ H28.8.29	低炭素社会の 形成部会
古澤 有三	商工会 副会長	2号委員	H26.8.30～ H28.8.29	循環型社会の 実現部会
峯尾 博	農業委員	2号委員	H26.8.30～ H28.8.29	生物多様性の 保全部会
土谷 美智代	地球温暖化防止活動 推進員	3号委員	H26.8.30～ H28.8.29	低炭素社会の 形成部会
藤田 成吉	東海大学教養学部 人間環境学科 元教授	3号委員	H26.8.30～ H28.8.29	全体
二宮 節子	議会議員	3号委員	H27.2.20～ H28.8.29	生物多様性の 保全部会
久保田 秀実	山西小学校 校長	3号委員	H26.8.30～ H28.8.29	低炭素社会の 形成部会
内山 和子	神奈川県環境科学 センター 研究調査部長	3号委員	H26.8.30～ H28.8.29	生物多様性の 保全部会

二宮町環境審議会規則

第2条第2項

- (1) 町民
- (2) 事業者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) その他町長が必要と認めたもの

1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
1-1 吾妻山の保全と 魅力の向上	①公園等管理 運営事業・公園等維持整備 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は観光とリンクしていると思うので、町の観光協会なども連携協力の対象にした方が良いと思う。 ・今後の課題に「新たな施設の維持管理や樹木等の適切な維持管理を効率よく実施することを考える必要がある。」とあるが、具体的にどのように効率が良くないのか、どこに問題があるのか教えていただきたい。 ・4、5、6月の吾妻山公園への来園者数は、昨年度に比べ増えているか。数値を把握していれば知りたい。 ・吾妻山公園の各登り口を中心に募金箱を増設し、集まったお金を吾妻山の環境保全のために使用することなどを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は観光協会も連携・協力の対象にします。 ・平成26年4月からシバザクラ園などの新たな施設が開園しましたが、維持管理の時期や手間が把握できていないことから、その都度の対応になり、他の維持管理業務に影響を及ぼしている状況です。そのため、平成26年度の実績を基に、翌年度は維持管理業務の見直しを図っていきたいと考えています。 ・平成25年4月は24,044人、5月は15,888人、6月は6,009人で、平成26年4月が26,127人、5月が17,264人、6月が6,529人となっており、増加しています。 ・募金箱の増設については、設置場所等を考慮し検討していきます。集まったお金は二宮町みどり基金に入れ、吾妻山公園を含んだ町内緑地等のみどり保全事業に使われています。
	②吾妻山の新たな整備事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻山公園再整備計画は今後も進行していくか。 ・芝桜エリアの整備は、「1-1.吾妻山の保全と魅力の向上」の内、「魅力の向上」という面で評価できるが、芝桜は外来種なので、できれば吾妻山に生息する固有種等の生物多様性の保全に関わる事業についても記載し、評価していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度までの再整備事業により、頂上付近のバリアフリー化を図ることができていますが、そこまでのアクセス、移動手段がないため、今後、進入ルートを検討していく予定です。 ・今後は、固有種についても評価の対象としていきます。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
1-2 丘陵地や谷戸などの保全	①里山再生育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 水田の広がりなどを里山の拡大として評価し、高く評価しても良いのではないかと。Bというのは評価が辛い。農業委員会から見ると、もう少し良い評価が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施箇所の偏りと、町民主導をもっと進めたいという思いからBとしました。
	②土地改良事業（農道整備）	<ul style="list-style-type: none"> 農道の整備率0%で評価がBだが、0%ならばCではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規整備は非常にハードルが高く計画通りの整備は進んでいませんが、維持補修の面では一定の成果があると考えています。
	③ふれあい農園事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度実績の欄に、区画数、面積の数値を記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 123区画×20㎡で2,460㎡の維持管理を実施しました。
	⑤緑の基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度実績の欄に、整備面積等具体的数値を記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）二宮風致公園の整備については、約5.5haの区域の中で、必要な箇所を整備しており、造成など、整備区画が重なる場合もあるので、整備面積等で記載することはできません。
	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会	<ul style="list-style-type: none"> 評価シートに町の対応やボランティアとの連携が記載されており、前年度の審議会意見が活かされている。 前期（27年度）目標値でホタル出現数が600頭と記載してあるが、実績は目標値をかなりオーバーしている。目標値を考え直すということとはしなくて良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の見直しについては検討します。
1-3 水と親しめる葛川の再生	⑧葛川改修計画（県）	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害への対応も認められる。 	—

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃（かながわ海岸美化財団）	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の審議会意見を受け、ごみの回収量を「年々増加していくことをめざす。」に修正してあるが、今年度実績を見ると一概にごみの量で評価することが難しいとわかる。目標設定について再考願う。 この事業は「2.循環型社会の実現」の事業ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸ごみの量は、自然条件に左右されるので、回収量は目標設定に適さないため、次年度より「海岸のごみについての苦情の回数が0件になること」を目標にします。 中期実施計画策定の際はその位置づけについて検討します。
	③松の保全事業	<ul style="list-style-type: none"> 単独では良く対応、フォローされているが、開発行為に認定されると全く無視され、折角植樹した新種の松も伐採されている。開発行為の認定時にアセスメントを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 松の植栽については、あくまでも地権者のご協力により実施していますので開発行為の中で介入するのは難しい状況です。
	④朝市や地引網等による二宮海岸の魅力向上【新規】	<ul style="list-style-type: none"> なぜ数値指標が朝市の来場者数なのか、また、目標値を平成24年度の実績値100人の2倍の200人にしたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力向上の指標として、数値化可能なものとして朝市の来場者数としました。設定当時の伸びを考慮して2倍としました。
	⑥海岸保全対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 国の直轄事業（平成26～43年度）による海岸保全・砂浜再生に期待するとともに、地元の意見の反映にも取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の直轄事業と連携しながら、適切な海岸保全及び町の意見反映に取り組みます。
1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	③保存樹林等補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 単独では良く対応、フォローされているが、開発行為に認定されると全く無視され、折角植樹した指定大木も伐採されている。開発行為の認定時にアセスメントを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為等により樹木を伐採することについてを制限することはできませんので、アセスメントは実施しませんが、開発行為等を施行する事業者に対して、緑化の推進を図るよう引き続き要望をしていきます。
	⑤動物の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> 二宮町は外来種の捕獲に対する理解があり評価できる。 評価の中に山続きになっている近隣自治体との連携の視点を評価シートに入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 湘南地域県政総合センター管内3市2町と連携し、被害状況の把握、対策の情報共有を図っています。次年度以降の評価シートに記入します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち 全体 進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> ・「吾妻山の保全と魅力の向上」（1-1.）については、観光要素の評価に偏っているため、遊具等の導入や開発が吾妻山の生物多様性に影響が無いか、また、観光客が一時期に集中することによる環境への影響の有無などという視点からの評価も加えると良いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具等の導入や開発に伴う環境への影響の有無については、詳細な外部調査をしなければ影響の判断が難しく、評価は難しいと思われます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策に対する評価の視点に「動植物の保全」とあるので、「丘陵地や谷戸などの保全」（1-2.）については、ホタル以外の虫、蝶、鳥などの動物についても内容も入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、特記できる動物がありませんが、今後生態調査等を行うことがあれば改めて検討します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「水と親しめる葛川の再生」（1-3.）について、葛川は比較的現状維持されている。現状を維持することはとても大変なことなのでもっと高く評価しても良いと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も河川管理者と連携し、河川のより一層の適切な維持管理の向上を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「良好な自然を象徴する動植物の保全について」（1-5.）は、まとまりがあり良いと思う。 	—
		<ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業については、国・県の農村・農業施策の動向や二宮町の都市近郊農業としてのポテンシャルを踏まえつつ、「中期実施計画」の基本施策として「環境保全型農業」という項目を検討してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業については、在来農業との共生に十分な配慮が必要な手法ですので、中期実施計画策定の際はその位置づけ及び項目立てについて検討します。

2【循環型社会の実現】環境にやさしい循環型のまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	①ごみ減量化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が増えた場合、1人1日あたりのごみ総排出量という指標に問題が出る可能性があるのでは、再考するべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境省が全国の市町村及び特別地方公共団体に対し行った「一般廃棄物処理事業実態調査」に基づき算出した指標であるため、全国の市町村と比較できる指標となっています。 ご指摘のとおり、家庭系ごみだけの指標も必要と考えますが、収集体系の見直しが必要となるため、今後の課題として検討します。
	②水分もうひとしぼり運動	<ul style="list-style-type: none"> 地域説明会での運動は効果があったと考える。 ごみの出し方が変わると水分の出方が変わると思う。ごみ処理広域化後も目標値はこのままで良いのか検討が必要である。 平成26年度1回目の地域説明会で、水分もうひとしぼりの話が無かったことは良くなかった。2回目は是非話をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 水分率の目標は、ごみ処理広域化後のごみ分析の結果などを踏まえ、検討します。 2回目の説明会についても、1回目と同様、ごみの出し方、収集日の変更について周知するため、水分もうひとしぼりについては、説明会の最後に参加者へ啓発します。
	③マイバッグ・マイボトル等の啓発【新規】	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグの利用を促すような町の施策が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県では、市町村、事業者、各種団体を構成員とした神奈川県レジ袋削減実行委員会が広域的にレジ袋の削減に取り組んでいます。 町の施策としては、小学校全児童に配布している環境教育チラシや、環境教育講座、町のイベントなどでマイバッグの利用を促す啓発を続けていきたいと考えています。
	④ごみ減量化推進協議会による推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化推進協議会は実行的な協議会活動であり評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ごみ減量化推進協議会でごみ減量施策など協議してまいります。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
2-2 リユースやリサイクルの促進	①簡易粉砕機の貸出（剪定枝）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業趣旨を含めた宣伝及び利用率が下がった理由の検証が必要である。 ・各家庭でのリサイクル⇒地域内リサイクル⇒事業所を含む地域間リサイクルへと、リサイクルチェーンを一步一步きめ細かく着実に形成していくことも検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率が下がった理由としては、ホームページ、環境イベントで啓発をしましたが、広報紙で啓発しなかったことが原因と考えられます。 ・このことを踏まえ、平成26年度においては広報紙で啓発しました。 ・また、剪定枝のごみの出し方について問い合わせがあった際は、簡易粉砕機の貸出についてお知らせし、各家庭でリサイクルしていただくよう啓発をしています。 ・リサイクルチェーンについては、簡易粉砕機の破砕能力が太さ3cm以下の枝を2cmのチップにするものであり、太い枝についてはチップ化することができず、チップを地域内リサイクルするほどチップ化することは難しいと考えます。 ・まずは、ごみに出さず、各家庭でリサイクルできるよう啓発をしてまいります。
	②町内でのリユース・リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイルドシート等に対象を絞った「子ども用品活用バンク」の制度化、広報紙等への「差し上げますコーナー」の掲載など、工夫して実施してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、チャイルドシート等に対象を絞り、子育てサロンを活用して「子ども用品活用バンク」を実施することについて検討しています。 ・広報紙等への掲載についても、あわせて検討します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
	③生ごみ堆肥化容器購入補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の新たな需要を生み出すために余った堆肥の受け入れルートを作るなど、工夫をする必要がある。 ・各家庭でのリサイクル⇒地域内リサイクル⇒事業所を含む地域間リサイクルへと、リサイクルチェーンを一步一步きめ細かく着実に形成していくことも検討してはどうか。 ・「建築物の緑化の推進」(3-3.①)や「花いっぱい運動普及事業(植栽)」(3-3.②)は、「生ごみ堆肥化容器購入補助金」(2-2.③)の事業と結び付け、堆肥の有効活用を図ってはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の生ごみでできた堆肥についても、地域内で資源が循環する制度の確立を目指し、検討します。
	⑤グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいホームページの作成が必要である。ホームページのアクセス数もわかるようにしてほしい。 ・低炭素化に資する取組みでもあるので、中期実施計画に向けて連携策の検討を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいホームページの作成について検討します。アクセス数も解析できるようにします。 ・既に庁内各課、教育委員会に情報提供を行っており、中期も同様の取組みを行います。
	⑥道路改良改修工事(リサイクル路盤材を使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル材を使用した工事を既に100%行っているが、「建設リサイクル法」では道路改良改修工事の他にもさらに細かい指定がある。中期も続けてこの事業を環境基本計画実施計画に入れる必要があるか、廃棄物リサイクル全般を通して検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路工事の路盤材にはRC-40やRM-40等の再生材料の使用を今後も推進していきます。 ・すでに目標値を達成している事業であるため、中期実施計画策定時等に本事業の位置づけについて検討します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	②ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）	・カラスネットの配布枚数以外に、苦情件数を指標にしていくことも考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情、相談件数については正確な指標を取ることが困難です。 ・また、苦情、相談があった場合、カラスネットを配布しています。 ・今後はカラスネット配布数のうち更新件数、新規設置件数などの状況も踏まえ評価してまいります。
2-5 地産地消の促進	①地元製品の消費促進【新規】	・農産物を主体とした朝市を促進してはどうか。	・海の朝市では、農産物を取り扱っておりますが、残念ながら農業者の撤退が相次いでいる状況です。

3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
3-1 省資源・省エネルギー活動の促進	③公用車におけるエコカーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車に電気自動車を導入したり、充電設備を設置したりすることが今後の課題となっているが、国、県及びメーカーの補助が行われている前期（平成27年度まで）中の導入を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコカー技術は日進月歩であり、公用車への電気自動車の導入や、充電設備の設置については、燃料電池自動車やプラグインハイブリット車・ハイブリット車の燃費向上などを加味しての検討が必要です。導入コストやランニングコストも検証し、慎重に検討しています。
	⑥公共交通への利用転換の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画に基づきコミュニティバスの乗車人数の目標値を設定したとあるが、100人という数値の根拠がわからない。 ・目標に対する実績を見てBという評価に疑問がある。 ・コミュニティバスと神奈中バスの料金に差があり、利用者が減っているのではないかと。料金の検討はしないのか。 ・民営バスの乗降客数を町独自で調査しコミュニティバス事業に反映させてほしい。 ・どうしたらコミュニティバスを利用してもらえるかという視点が無い。乳幼児を育てている人が子育てサロンを利用するために、ベビーカーを利用したまま乗れるようにしてはどうか。 ・コミュニティバスやデマンドタクシーを、CO2の出ない車種に変更するような働きかけもあると思う。 ・利用実績の調査データを活用し、町内の公共施設等を結ぶネットワークを日帰り観光の町づくりと併せて考え、ニーズに合った効率的な運行ルートを検討してほしい。 ・今以上に「環境」の視点を取り入れた事業実施を願う。 ・子どもを対象とした公共交通に関する教育を行ってはどうか。 	<p>《交通計画について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標人数の設定については、地域公共交通計画策定時に需要予測を行い、数値を設定しております。概ね1日100人以上乗車時から1人に対する運行費用が比較的良好となる予測となります。 ・B評価について、地域公共交通計画に定めた交通の改変を予定通り実施しましたが、目標となる乗車人数には達しておりません。CO2削減等環境向上のためにも引き続き自家用車から公共交通への利用転換に向けた取組みを実施していきます。 <p>《運行等の改変について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスは路線バスが運行していない地区を補完することを目的に運行しております。料金を路線バスより安価にすることは、路線バスの営業に影響を及ぼしますので、運行距離等を勘案し現在の料金を設定しております。尚、乗車料金の検討や乗降客データにおける行き先等の検討については、利用状況等をみながら随時検討を行います。 <p>《車両について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した車両の導入や、子育て世代や高齢者等誰もが利用できる低床バス、UDタクシー等の導入については、事業者や国の補助金等状況をふまえながら検討していきます。 <p>また、コミュニティバスの車両については、現在老朽化が進んでますので、車両の変更等を見据えながら短期的な視点で協議をしていきます。</p> <p>《啓発について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する教育については、全町的な取組みとして公共交通の意識啓発としたモビリティ・マネジメントを定期的に実施してまいります。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
3-2 自然エネルギーの活用	①太陽光エネルギー（ソーラー・温水器など）利用の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム助成制度は活用しづらいので、県のものとの補助金の併用ができないこと、町の業者でないと利用できないことを見直してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当制度は、より多くの方の居住環境の向上を目的としているため、神奈川県制度や他制度との併用は今後不可と考えております。 ・制度の目的として、地域経済の活性化も含まれていることから、町内業者(登録事業者)限定の方向性は変わりません。
	②自然エネルギーに関する情報収集・提供【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの普及率を目標値にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートに、二宮町世帯数に対する太陽光発電システム（固定価格買取制度利用）の導入件数を記載します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
3-3 緑化や雨水利用などによる環境の保全	①建築物の緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・水やりにたくさんの上水を利用しているなら、CO₂を出していることになり低炭素社会の形成に反する。雨水等の活用を検討出来ないか。 ・「生ごみ堆肥化容器購入補助金」(2-2.③)の事業と結び付け、堆肥の有効活用を図ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上水の利用状況を見ながら、公共施設への雨水タンクの設置などの検討をします。 ・家庭の生ごみでできた堆肥についても、地域内で資源が循環する制度の確立を目指し、検討します。
	②花いっぱい運動普及事業(植栽)	<ul style="list-style-type: none"> ・水やりにたくさんの上水を利用しているなら、CO₂を出していることになり低炭素社会の形成に反する。雨水等の活用を検討出来ないか。 ・「生ごみ堆肥化容器購入補助金」(2-2.③)の事業と結び付け、堆肥の有効活用を図ってはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、花いっぱい運動に伴う雨水利用の活用を検討していきたいと思います。 ・堆肥については、今後、利用を図っていききたいと考えております。
3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち 全体進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策の中の緑化、公園、屋敷林、生垣、屋上緑化、壁面緑化、グリーンカーテン、雨水利用、集水ます、透水性舗装などは「グリーンインフラストラクチャー」(緑の社会資本、略称「グリーンインフラ」)というコンセプトで捉え、基本施策に位置づけることなども考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中期実施計画策定時に、「グリーンインフラストラクチャー」の位置づけについて検討します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「緑化や雨水利用などによる環境の保全」(3-3.)については、雨水等の活用を検討し、低炭素社会の形成に繋がるように意識して事業に取り組むことと、水道水を節約することがCO₂削減に繋がることの啓発が必要ではないか。中期に向けて、今年5月に施行された「雨水の利用の推進に関する法律(雨水利用促進法)」に基づく節水を推進するような事業を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上水の利用状況にあわせて、雨水タンクの設置など雨水活用を検討します。 ・また、水道水の節水がCO₂削減に繋がることは認知度が低いため、啓発についても検討します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
		<p>・環境保全による安全なまちづくり(3-4.)については、中期の事業として減災の視点から内水氾濫の防止を入れてほしい。 また、環境と防災を関連づけた普及啓発を可能とする教育プログラムの考案、事業の立案等を検討してはどうか。</p>	<p>・中期実施計画で、事業項目に減災の視点から内水氾濫の防止を入れるかどうか、検討します。 ・町立小中学校では、毎年、各校毎に防災計画を策定し、これを基に防災・安全教育を実施しています。 具体的には、各校毎で防災訓練を実施している他、各小学校で大地震発生を想定した際の保護者への引き渡し訓練などを行っています。また、学活の時間や授業の中で防災教育(災害時の対応確認や過去の自然災害の事例紹介など)を行い、子どもの意識啓発に努めています。 環境と防災を関連づけた普及啓発を可能とする教育プログラムの考案、事業の立案、事業実施等については関係各課、各学校と連携し、学校の状況を考慮しながら検討します。</p>
		<p>・太陽光発電システム、電気自動車の導入や充電設備の設置等、新エネルギーの活用及び自家用車に頼らない公共交通への利用転換等をエコロジーのネットワークとしてまとめる枠組みづくりを中期に向けて検討する必要がある。</p>	<p>・エコロジーネットワークの構築については、町全体の課題として認識しておりますので、関係部署や国・神奈川県との動向を見据えながら中期実施計画の策定に向けて引き続き検討します。 ・公共交通への利用転換については、二宮町地域公共交通計画に位置付けられている通り定期的にモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通への利用転換にむけた意識啓発を実施します。</p>
		<p>・中期、後期に向けて、新エネルギーとして水力、風力、潮力も考えるべきではないか。</p>	<p>・新エネルギーについては、国や神奈川県等と連携しながら慎重に検討します。</p>

4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取組み

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
4-3 “学習・情報共有”による計画推進	③小中学校と環境保全団体の連携による住民参加型環境教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定量的に効果を図るため、アンケート等を行ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度10月に二宮小学校で開催したにのっこパーク「エコであそぼう」の場で、アンケートを行いました。
4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取組み 全体進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> ・町民・事業者・町による連携や協力については、中期実施計画の作成に向けて各主体内部（町民・町民団体間、事業者・事業者団体間、町各部局間）における取組みの更なる促進についても検討する必要があると思われる。 ・また、近隣市町との連携・協力や、国・県との連携強化も期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各主体内部（町民・町民団体間、事業者・事業者団体間、町各部局間）の連携や協力についても、把握できる範囲で評価シートに記載します。

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
平成25年度二宮町第二次環境基本計画実施計画 全体進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの、連携・協力を「神奈川県」や「県」と記載しており、統一されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標記を「神奈川県」に統一します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・既に数値指標の前期（27年度）目標値を大幅に上回り、達成している事業について、目標値の見直しが必要かどうか再確認し、必要である場合は中期に向け変更してはどうか。 ・多面的な効果を有する施策事業の目標の設定及び評価の視点・方法については、当該事業の内容を具体的に把握した上で、その環境側面を中心に再検討する必要があると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中期実施計画作成時に、既に数値指標の前期（27年度）目標値を大幅に上回り、達成している事業について、目標値の見直しが必要かどうか再確認し、必要である場合は変更します。 ・施策事業の目標の設定及び評価の視点・方法については、中期実施計画作成時、環境側面を中心に再検討します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・数値を記載できるものはできるだけ記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数値を記載できるものはできるだけ記載するよう周知します。
		<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の個々の実施・評価に止まらず、基本目標に基づく基本施策間の相互関係や基本目標間のそれにも着目し、各事業の連携協力による相乗効果を引き出すことにより「環境共生型まちづくり」が効果的に進められることが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中期実施計画及び評価シートを作成する際は、基本施策間や基本目標間の繋がりにも着目しながら実施・評価するようなものを検討します。

第2次環境基本計画実施計画評価シート(案)

資料2

担当部課等名	町民生活部 生活環境課
基本目標	4. 計画の推進方策
基本施策	4-1 “町民・事業者・町”による計画推進

記入例

No.	②	事業名	環境に関するイベントの開催
事業内容	環境活動団体との連携・協力によりイベントを開催し、団体の活動の紹介を通じながら、環境問題への意識啓発を行う。		
連携・協力	環境活動団体(環境づくりフォーラム等)、廃食油回収・再利用推進委員、町民 他に考えられる団体があれば、加筆		
基本施策に対する評価の視点	・町民・事業者・町の3者が連携し協力して取り組んでいるか。		

数値指標	環境活動団体との連携によるイベント開催数			
前期(27年度)目標値	1回	【目標値の根拠】 環境づくりフォーラム展の開催数として毎年実施することを目標とした。 実績と照らし合わせて目標を修正する場合は、見え消しで修正。		
実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	1回	1回	1回	

評価指標	A: 事業の目的を達成できた、または同等の成果が得られた。 B: 計画通り実施し、一定の成果が得られた。 C: 計画通り実施できず、ほとんど成果が得られなかった。 D: 計画未実施
------	---

平成25年度	事業計画	平成25年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等
	実績(実施状況)	・環境づくりフォーラム展を開催した。 主催:環境づくりフォーラム 共催:二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、県職員等講師による講演会(参加人数47人)、廃食油石けんづくり(参加人数47人)、剪定枝堆肥の配布(200袋)、水切りキャンペーン(水切りネット30枚入り240袋、10枚入り100袋配布)等を行った。 ※参考:平成24年度 講演会(参加人数61人)、廃食油石けんづくり(参加人数38人)、剪定枝堆肥の配布(200袋)
	評価	B 【説明】 ・生活環境課職員、二宮町廃食油回収・再利用推進委員会が連携し行った廃食油で石けんを作る講座や、水切りキャンペーン等を行い、環境づくりフォーラムと連携できた。 ・ごみ減量化を図るため、水切りキャンペーンをいっのぼりを揚げながら啓発シールを貼った水切りネットを配布したことで、昨年度より多くの人を展示会場へ誘導できたと考える。(展示会場を閲覧した人数の把握は、常時スタッフが確認していることが難しい為行っていないが、感覚として増えている。) ・しかし、講座、講演会の参加者が少なかったため、評価をBとした。
	今後の課題	・講座、講演会により多くの町民に参加していただけるよう、広報に努める。
	環境審議会意見	
町の対応		

平成26年度	事業計画	平成26年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等	
	実績 (実施状況)	・環境づくりフォーラム展を開催した。 主催:環境づくりフォーラム 共催:二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、町職員やNPO団体講師等による講演会(参加人数61人)、廃食油石けんづくり(参加人数25人)、国立環境研究所 江守正多氏による地球温暖化の講演会(参加人数51人)、剪定枝堆肥の配布(100袋)、水切りキャンペーン(水切りネット10枚入り100袋配布)等を行った。 ※参考:平成24年度 講演会(参加人数61人)、廃食油石けんづくり(参加人数38人)、剪定枝堆肥の配布(200袋)	
	評価	A	【説明】 ・町職員、二宮町廃食油回収・再利用推進委員会が連携し行った廃食油で石けんを作る講座や、水切りキャンペーン等を行い、環境づくりフォーラムと連携できた。 ・昨年行った水切りネットや剪定枝堆肥の配布を引き続き行い、昨年度同様多くの人を展示会場へ誘導できたと考え。 (展示会場を閲覧した人数の把握は、常時スタッフが確認していることが難しい為行っていないが、感覚として増えている。) ・町の職員による来年度から変更予定の「ごみの分別・収集日変更説明会」や、IPCCの最新報告がされた直後であるタイミングで、国立環境研究所 江守正多氏による「地球温暖化リスクと人類の選択」の講演会を行ったことで、説明会、講演会の参加が昨年より増えたため、評価をAとした。
	26年度目標に対する達成度評価を記載する。		・講座、講演会により多くの町民に参加していただけるよう、引き続き広報に努める。
	今後の課題		
	環境審議会意見		
町の対応			
平成27年度	事業計画	平成27年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等	
	実績 (実施状況)		
	評価	【説明】	記入時のお願い <ul style="list-style-type: none"> ・英数字は、半角で記載してくださいようお願いします。 ・文末は、敬体ではなく、常体で記載してくださいようお願いします。 ・箇条書きで記載してくださいようお願いします。 ・年度、年の記載は、「平成■年度、平成■年」に統一してくださいようお願いします。 <p>○ 平成■年度、平成■年 × ■年度、■年、H■、20XX年度、20XX年</p>
	中期実施計画に向けた課題		
	環境審議会意見		
	町の対応		
数値指標の27年度目標値を修正する場合、見え消しで加筆する。			

「二宮町第 2 次環境基本計画中期実施計画」の作成方針(案)について(参考案)

1. 作成スケジュールについて

概ね次のスケジュールに従って作成します。

日程		内容	実施主体
平成 27 年	2 月 20 日	「中期実施計画 方針(案)」	平成 26 年度 第 3 回審議会
	7 月	「中期実施計画 骨子(案)」	平成 27 年度 第 1 回審議会
	10 月	「中期実施計画(案)」	第 3 回審議会 (当該案の審議に限定)
平成 28 年	～1 月	「中期実施計画」の作成	事務局
	2 月	「二宮町第 2 次環境基本計画実施計画【中期】 評価シート (案)」	第 4 回環境審議会
	～3 月	「中期実施計画」に基づく平成 28 年度計画の 作成	事務局

2. 作成方針について

(1)事業等の見直し及び整理統合等

審議会の意見等を踏まえ前期実施計画の「4.計画の推進方策」のあり方について再検討するとともに、「1.生物多様性の保全」～「3.低酸素社会の形成」に係る「事業等」を見直し、整理統合、組み換え、廃止、新規事業の採択を含め事業等の再構成を行います。

(2)重点施策の設定

審議会の意見等を踏まえ平成 27 年度に廃棄物の広域処理に移行することから、中期計画における重点施策として「2.循環型社会の実現」の中に設定する方向で検討します。

(3)評価方法

各事業等の評価については、前期実施計画と同様の方法で行います。なお、各事業等の特性に応じ、定量的(数値)評価または定性的評価の適性について見直しを行います。

(4)審議会からの提案事項

審議会から提案された次の事項については、中期実施計画にどのように組み込めるか引き続き検討します。

- ① グリーン・インフラストラクチャー(コンセプト)による関連事業の統合化
- ② 生ごみリサイクルチェーンの形成促進
- ③ エコロジーネットワーク(自然エネルギー関連事業の融合化)の形成促進
- ④ 「環境保全による安全なまちづくり」への「減災対策」の導入

平成27年度の環境審議会予定について

7月	【第1回環境審議会】	<ul style="list-style-type: none"> ・「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」について意見 ・「二宮町第2次環境基本計画実施計画【中期】」骨子(案)について
8月	【第2回環境審議会】	<ul style="list-style-type: none"> ・「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」について意見 ・「審議会意見とりまとめ」の確認
10月	【第3回環境審議会】 (当該案の審議に限定)	・「二宮町第2次環境基本計画実施計画【中期】(案)」について
2月～3月	【第4回環境審議会】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度「二宮町第2次環境基本計画実施計画」の進捗状況について 審議会意見に対する回答の確認 ・平成27年度「評価シート」項目等の見直し ・「二宮町第2次環境基本計画実施計画【中期】(H28～30)」評価シート(案)について

第2次環境基本計画実施計画評価の流れについて

CHECK 把握・評価

3月～4月	【担当課】	「評価シート」の作成 <small>事業等の取組みについて、担当課による自己点検・評価・課題の抽出</small>
5月～6月	【事務局】	「進捗状況の点検・とりまとめ」 <small>進捗状況を基本施策ごとにとりまとめ</small>
7月	【第1回 環境審議会】	「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」について意見
8月	【事務局】	「審議会意見とりまとめ」作成
8月	【第2回 環境審議会】	「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」について意見 「審議会意見とりまとめ」の確認
10月	【事務局】	「進捗状況報告書」「審議会意見とりまとめ」完成 <small>基本目標ごとに進捗状況、審議会意見をまとめる。</small>

ACTION 事業等の見直し・改善

10月～	【担当課】	審議会意見に対する回答 <small>審議会意見についての対応・改善・予算措置等</small>
2月	【事務局】	審議会意見に対する回答の集約 <small>基本目標ごとに進捗状況、審議会意見をまとめる。</small>
2月～3月	【第4回 環境審議会】	審議会意見に対する回答の確認 「評価シート」項目等の見直し

第2次環境基本計画 実施計画
【中期(平成28～30年度)】策定 評価シート作成